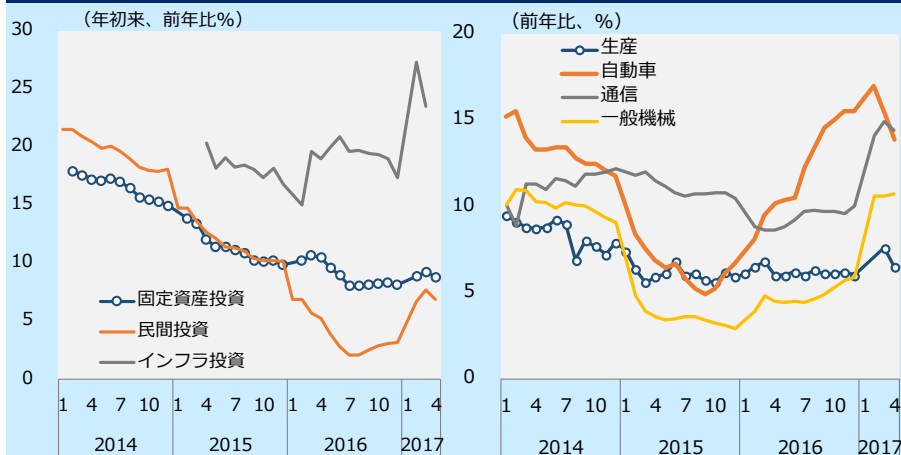


中国：4月の経済指標 — 党大会に向けてインフラ投資が増加 —

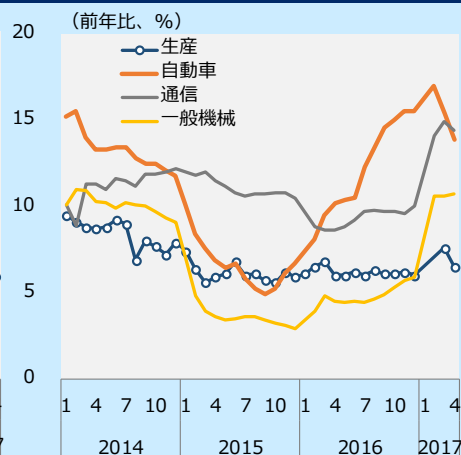
MRI Daily Economic Points
May 15, 2017

投資



資料：Bloomberg、CEICより三菱総合研究所作成

生産

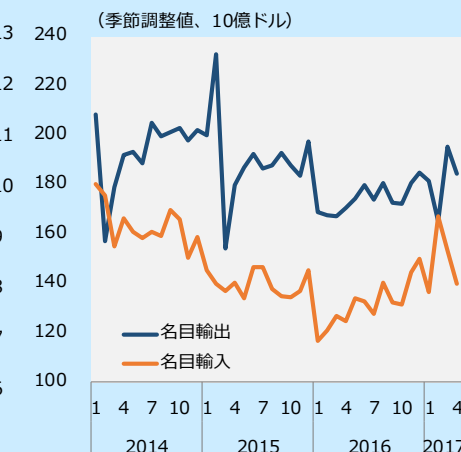


消費



注：三菱総合研究所による季節調整値
資料：Bloomberg、CEICより三菱総合研究所作成

輸出入



評価ポイント

今回の結果

- 中国経済は底堅く推移している。
- 17年1-4月累計の固定資産投資は、前年同期比+8.9%と前月(同+9.2%)から伸びは低下したものの、底堅く推移している。秋の党大会に向けて、各地方でインフラ投資が活発化。資材の引き合いの強まりなどを受けて製造業でも投資が増加している。
- 4月の鉱工業生産は、前年同月比+6.5%となった。小型車減税の縮小を受けて自動車で伸び率が低下しているものの、好調なインフラ投資を受けて通信や一般機械などで生産が大きく増加している。
- 4月の小売売上高は、前年同月比+10.7%と前月(同+10.9%)から伸びは鈍化したものの、高い伸びを維持。ただし、小型車減税の縮小を受けて自動車販売は17年初以降低調に推移している。自動車販売については、①安定した所得環境や、②自動車普及率の低さ、③年末に向けた小型車減税撤廃の駆け込み需要などから、年後半にかけて持ち直しに転じると予想するが、今後も低調なものにとどまれば消費を下押しする可能性がある。
- 4月のドル建て輸出は、前年同月比+8.0%と堅調に推移している。品目別にみると、世界的なITサイクルの改善から電子機器が好調なほか、輸送機械も増加が目立っている。ドル建て輸入も同+11.9%と安定した内需を背景に増加傾向が続いている。

基調判断と今後の流れ

- 中国経済は、自動車販売が減少しているものの、政府によるインフラ投資の進捗などから、底堅く推移している。
- 政府の人事が決まる17年秋の党大会に向けて、地方政府はインフラ投資を活発化させることで成長率を底上げさせている。習総書記の権力基盤がさらに強化されれば、構造改革を推進させることで成長が減速に復することも考えられるが、少なくとも17年中は地方政府によるインフラ投資に支えられた成長が続くものと予想する。